

学校の共通目標

|              |                |  |                            |  |                            |  |
|--------------|----------------|--|----------------------------|--|----------------------------|--|
| <b>授業づくり</b> | <b>重<br/>点</b> | ・ICTを活用し視覚的な手がかりを示したり課題提示の工夫や板書の工夫を行ったりすることを通して、児童が主体的に学習に取り組む授業を実践する。 | <b>中<br/>間<br/>評<br/>価</b> |  | <b>最<br/>終<br/>評<br/>価</b> |  |
| <b>環境づくり</b> |                | ・活動の流れを示し学習に見通しをもたせることで、主体的な学習ができるようにする。また、教室前面の掲示物の内容や量に配慮し、刺激量を調整する。 |                            |  |                            |  |

学年の取組み内容

| 学年 | 教科 | 学習状況の分析 (10月)  | 課題 (10月)  | 改善のための取組み (10月)  | 最終評価 (2月)          |           |
|----|----|--|---|--|--------------------|-----------|
| 1  | 国語 |  |   |  |                    |           |
|    | 算数 |  |   |  |                    |           |
| 学年 | 教科 | 学習状況の分析 (4月)   | 課題 (4月)   | 改善のための取組み (4月)   | 中間評価・追加する取組み (10月) | 最終評価 (2月) |
| 2  | 国語 | <small>学</small> ・言語事項では、漢字の定着はおおむね良い。<br>・一方、「書くこと」では、型にはまった感想等は書けるものの、自分の考えをまとめて書くことに課題がある。また、「話す・聞く」では、自分の意見を伝えることはできるが、友達の意見を「聞く」ことに課題が見られる。   | ・「書く」では、自分の考えを順序立てて、書くことに課題がある。<br>・「話す」では、自分の思いを話すだけでなく、聞き手を意識した話し方がまだできていない。<br>・「聞く」では、自分の考えと友達の考えを比べて聞くまでは、意識できていない   | ・「書くこと」の単元では、自分の意見の組み立て方を確実に押さえる。定期的に日記等も家庭学習などに取り入れ、書く方法を身に付けさせていく。<br>・「話す」では、書くことと関連させながら、理由も交えて話すことを意識させる。「聞く」では、友達の意見と自分の意見を比べながら聞けるよう、意識させ取り組ませていく。  |                    |           |
|    | 算数 | <small>学</small> ・「ひょうとグラフ」では、双方のよさを理解し、読み取りもよくできている。<br>・「たし算やひき算の筆算」では、計算の仕方をおおむねよく理解できているが、説明までできる児童は一部にとどまる。<br>・数え間違いや、計算の誤答が多い。  | ・読み取りや計算は、おおむねできているが、数え間違い等から計算の誤答が多い。<br>・計算の仕方は理解しているが、自分の考えを説明したり表現したりする力に差がある。  | ・基礎的な内容を確実に習得させるために、板書内容を整理したり、必要に応じてワークシートを作成したりし、ノート指導の充実を図る。自分の意見も書く時間を取る。<br>・見直しの指導を繰り返す行くと同時に、東京ベーシックドリルや昨年度のフォローアップワークシート等を、活用し取り組ませる。  |                    |           |
| 3  | 国語 | <small>調</small> 「読むこと」の正答率は、全国平均より10.4%上回った。物語文では場面の様子や登場人物の気持ちを、説明文では事柄の順序を考えながら内容を読み取る指導の成果と言える。<br><small>調</small> 「話すこと・聞くこと」では、与えられた情報から必要な情報や不足している情報を読み取る力が十分とは言えない。<br><small>学</small> 「書くこと」では、作文において自分の考えが明確になるように書くことが十分に定着していない状況が見られる。 | ・与えられた情報の一部は理解できているが、目的に合わせて十分な情報が取り出せていなかったり、不足している情報を把握しきれなかったりする状況が見られる。<br>・書くときに自分の考えが明確になるよう、理由を添えて具体的に書くことが十分でない。無回答率の多さが課題である。                                    | ・「話すこと・聞くこと」の単元では、与えられた情報から目的に合わせて必要な情報や不足している情報を全体で話し合い確認する時間を必ず設定し、指導する。1単位時間では各時間のめあてを板書・音読し、めあてを意識して学習に取り組むことができるようにする。<br>・「書くこと」では、自分の考えを書くとともに、そう考えた理由を必ず書くよう指導し、ノート指導も行う。  |                    |           |
|    | 算数 | <small>調</small> 「数と計算」の正答率は、全国平均より9.8%上回った。たし算・ひき算といった計算の技能や1000までの数の理解がきちんと定着していた。<br><small>調</small> 「量と測定」の時刻と時間や長さ・かさの正答率が目標値を下回っていた。特に、かさの単位の関係を理解し、大小を判断することがまだ十分に身に付いていない。<br><small>学</small> 時刻と時間の求め方の学習では、2つの時刻の間の時間を求める問題で戸惑っている様子が見られた。 | ・2つの時刻の間の時間を求める問題、ある時刻から一定時間前や後の時刻の問題になると正答率が下がっていることが課題である。<br>・長さの違いをひき算で求めるとき、cm、mmごとに同じ単位で計算することが十分に理解できていない。<br>・かさではL、dL、mLの単位の関係が十分に理解しておらず、数の大きいものを選んでしまう状況が見られる。 | ・「時刻と時間」の単元では、一人一つ操作できる時計を準備し、時計の文字盤や数直線を手掛かりにしながら問題解決ができるようにする。<br>・「長さ」の単元では、レディネステストでcm、mmの復習をし、同じ単位で計算することを確認しながらm、kmの学習につなげていく。「かさ」については、フォローアップワークシートを活用し2年生の学習の復習を行う。また、「重さ」の学習では、g、kg、tの単位の関係が十分に理解できるように、量感を大切に体験的な学習を行う。 |                    |           |
| 4  | 国語 | <small>調</small> 「読むこと」の説明文の正答率は、全国平均よりも9.8%上回った。<br><small>調</small> 「話す・聞く」は区内の平均とほぼ変わらなかった。<br><small>学</small> 書くことでは、作文において、要点を絞って書くことが十分に身に付いていない様子が見られる。  | ・一部の児童は積極的に話せるが、全員が積極的に話すことまでは至っていない。<br>・聞くことも同様で、目的に応じて聞くことに課題がある。<br>・目的に応じて書くことに課題が見られる。  | ・「話す・聞く」の単元で、話し合いの仕方を身に付ける。<br>・他教科でも話し合いの活動を取り入れて、話す力と聞く力を丁寧に指導していく<br>・目的や相手意識をもって書く指導を継続的に行う。   |                    |           |

|    |   |   |   |  |  |  |
|----|---|---|---|--|--|--|
|    | 算数  | <p>調全ての領域と観点別正答率も全国平均より上回っている。</p> <p>学 作図の学習において、見通しがもてない様子が見られる。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の問題では、作図の仕方が分かっても定着に至っていない。</li> <li>・用語についても確かめる必要がある。</li> <li>・見通しや作図の完成図をイメージできない様子も見受けられる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の作図の活動を取り入れて丁寧に指導しながら、個別の指導もしていく。</li> <li>・1つずつかき方を確認して、継続的に指導していく。</li> <li>・「図形」領域においては、フォローアップワークシートを活用して3年生の学習の復習を行い、作図の仕方について確認していく。</li> </ul>        |  |  |
| 5  | 国語  | <p>調領域「話すこと・聞くこと」の正答率は、全国平均より14%上回った。</p> <p>調全ての領域と観点別正答率も全国平均より上回っている。</p> <p>学書くことでは目的や必要に応じて要点をまとめられない様子が見られる。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な学習の中で既習事項の漢字を活用していない様子が見られる。</li> <li>・具体的な支援がなければ、どのように書いたらよいか分からない児童が多い。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を書くことでは、「正しく覚えること」と、「日常で活用していくこと」の両方を大事に指導していく。</li> <li>・順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く力を身に付けさせていく。</li> </ul>   |  |  |
|    | 算数  | <p>調領域「量と測定」、観点別「知識・理解」は、全国を僅かに上回っている。</p> <p>調全ての領域と観点別正答率も全国平均より上回っている。</p> <p>調「関心・意欲・態度」においては全国平均を下回っている。</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」の領域が一番の課題であり、一般的な内容理解が難しい。</li> <li>・既習事項が定着していないため、算数に対する抵抗感がある児童が多い。</li> <li>・図形においては切り取らせたり、敷き詰めさせたりしなければ、図形への理解が難しい様子が見られる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じてどの児童も基礎・基本を確実に身に付けられる授業を行う。</li> <li>・「分かる」「できる」「喜びを味わわせる」ために個別の支援を行い、算数への「関心・意欲」を高める。</li> <li>・学習した図形を切り取らせたり、敷き詰めさせたりするなど、算数的活動を取り入れる。</li> </ul>      |  |  |
| 6  | 国語  | <p>調全ての領域の正答率が、全国平均を上回った。</p> <p>調書く能力の正答率が、他の領域と比べると少し下回っている。</p> <p>学「書くこと」では、課題に対応した文章を書き出すことが、十分に身に付いていない様子が見られる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対応した文章を、的確にとらえて過不足なく書き出すことに課題が見られる。</li> <li>・自分の考えの根拠を明らかにして、考えをまとめることに課題が見られる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、課題に対応した文章を書き出す学習活動を設定して、書く力を高める。</li> <li>・事例と筆者の考えを読み取る力を身に付けさせて、事実をもとに自分の考えをまとめるようにさせる。</li> </ul>   |  |  |
|    | 算数  | <p>調全ての領域において、正答率が全国平均を上回った。</p> <p>調学習したことを活用して、課題を解決する力にやや課題が見られる。</p> <p>学小数や分数の計算等の基礎・基本の定着に、若干の課題が見られる。</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を使い、自分の考えを書き表すことに個人差が見られる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式などを学習する際には、「どうしてこうなるのか」を考えて、理解した上で使うことができるように指導していく。</li> <li>・自分の考えを書く際には、十分に時間をとり、図・式・言葉を使って表せるように声を掛け、自分だけでなく友達も理解できる発表を繰り返すことで、考えを書く意欲を高めていく。</li> </ul> |  |  |
| 音楽 | <p>学 全体的にどの学年も音楽の学習に意欲的な児童が多く、すすんで表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に対する興味・関心は高いが、自己肯定感の低さが原因となって学習に主体的に取り組めないことがある。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個のよさや学級のよさをほめて自己肯定感を高めていくとともに、互いのよさを認め合う活動や場の設定を工夫する。</li> <li>・カードや掲示物を活用し、スモールステップで達成感を味わわせながら学習を進めていくようにする。</li> </ul>                             |  |  |  |
| 図工 | <p>学材料に積極的に関わるとともにすすんで活動し、自分なりの表現を試して発想を広げようとする意欲的な児童が多い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表現への肯定感がやや低く、自分のイメージに合わせて色や画材や素材を選んで表現する力に課題がある。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表現や他者の表現のよさに気付き、自信をもって活動できるように、よさを言語化して伝える活動を工夫する。</li> <li>・画材や素材を表現に合わせて豊富に用意し、選択させる活動場面を設定し、思考力・判断力・表現力を高める。</li> </ul>                         |  |  |  |
| 特支 |   |   |   |  |  |  |

調…新宿区学力定着度調査の結果から見える学習状況

学…授業での様子や提出物、作品、ワークテスト等から見える学習の状況

※分量は2ページ以上となってもよい。